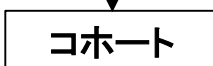
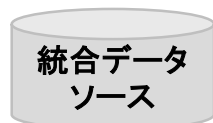
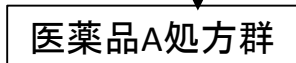


一次統計処理結果データ(例)

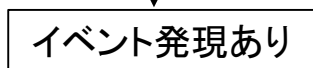
例) コホート研究デザインを用いた場合
 < 医薬品A、医薬品B処方とイベント発現 >



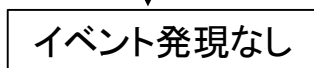
N人



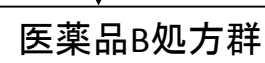
n_1 人



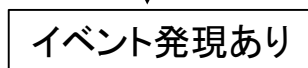
a人



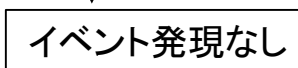
b人



n_0 人



c人



d人

コホートの定義

医薬品Aまたは医薬品Bいずれかの新規処方がある

イベント定義

初回処方以降に以下の条件をみたす

- (例) 1. 傷病名Aの付与
2. 治療薬Bの処方
3. 検査値Cの上昇

発生割合

	イベント発生数(人)	イベント非発生数(人)	発生割合	発生割合比	発生割合比の95%信頼区間	発生割合差	発生割合差の95%信頼区間
医薬品A処方群	a	b	a/n_1	$(a/n_1)/(c/n_0)$	$\{(a/n_1)/(c/n_0)\} \times \exp\{\pm 1.96 \times \sqrt{(b/n_1 + d/n_0)}\}$	$(a/n_1) - (c/n_0)$	$\{(a/n_1) - (c/n_0)\} \times \exp\{\pm 1.96 \times \sqrt{(ab/n_1^2 + cd/n_0^2)}\}$
医薬品B処方群	c	d	c/n_0				

- 上記の例では、コホート研究デザインを用いて、医薬品A処方群、医薬品B処方群という2つの集団におけるイベント発生割合の比較を行っています
- このように、一次統計処理結果データは、該当人数や統計処理結果値のみが含まれる情報であり、個人が特定されるような情報は含まれません